

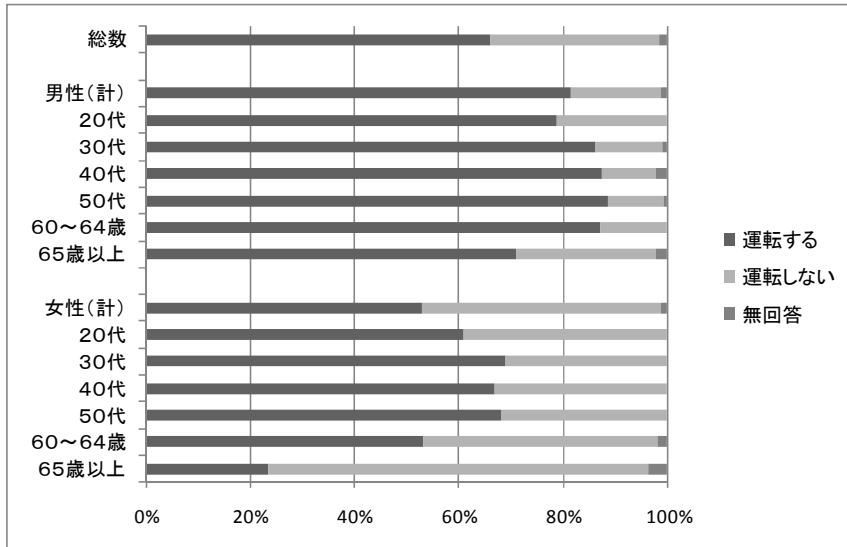
第 2 3 回県政世論調査結果（平成 2 1 年度実施）

1 自動車の運転の有無

（平成 2 1 年度実施）

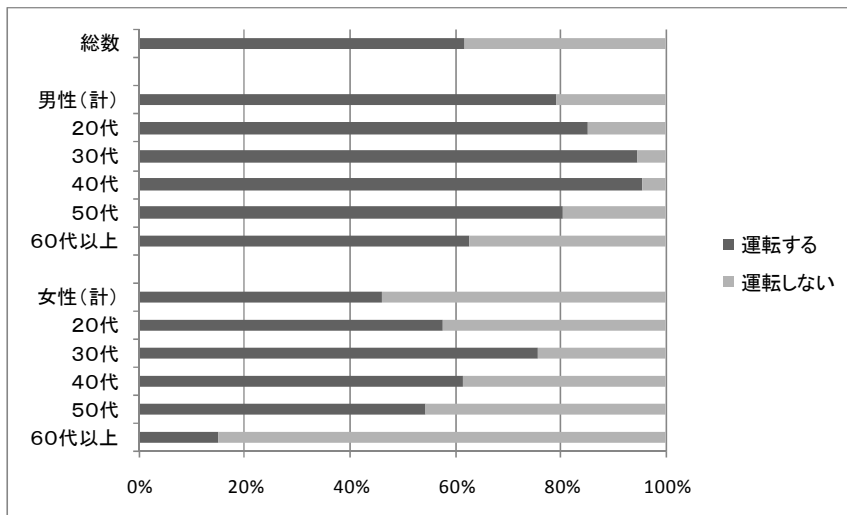
問 あなたは、車を運転しますか。（○は 1 つ）

n=1, 501



（平成 1 4 年度実施）

問 あなたご自身は自動車を運転しますか。 n=2, 102



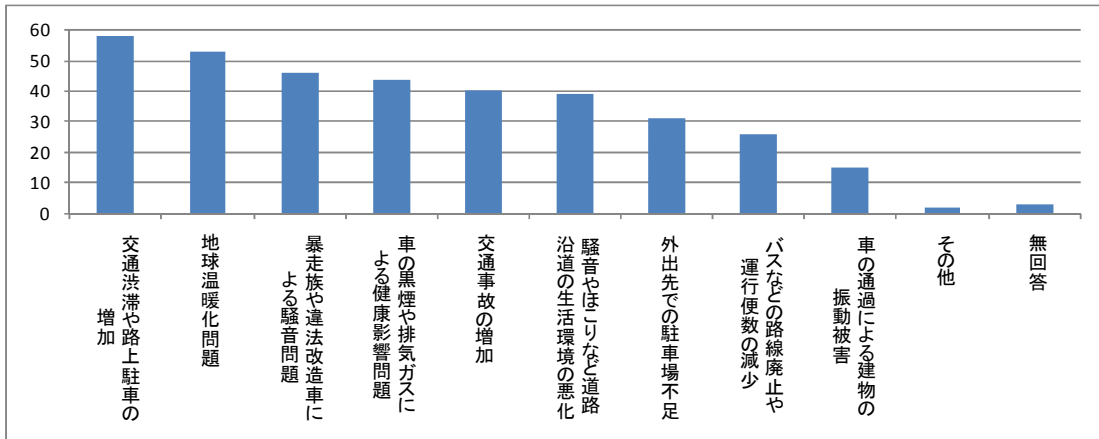
自動車を運転する人は、平成 2 1 年度で 6 割台半ば（6 6 %）となっている。総数では平成 1 4 年度（6 1 . 7 %）から大きく変わらないが、性・年代別にみると、平成 1 4 年度に男性で高かったのが 3 0 代、4 0 代、女性では 3 0 代であったのに対し、平成 2 1 年度には、男性で 4 0 代、5 0 代、女性では 3 0 代、4 0 代、5 0 代が高くなっている。また、6 0 代以上で運転する人の割合が男女ともに大幅に増加しているなど、運転する人の高齢化が進んでいる。

## 2 自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うこと

問 自動車は生活する上で大変に便利なものですが、その反面、自動車の使用に伴い、いろいろな問題が生じています。あなたが特に解決したい問題はどれですか。

(○はいくつでも)

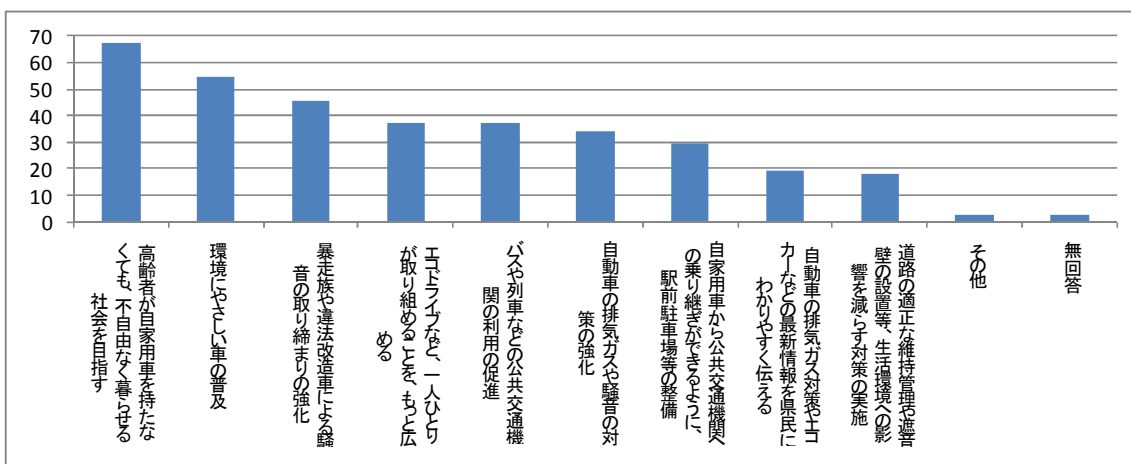
n=1,501



解決したい問題として、「交通渋滞や路上駐車増加」が約6割で1位であった。地域別にみると、葛南地域が約7割、東葛飾地域が約6割と他の地域よりも高く、都市部で問題視する人が多い。また、2位は地球温暖化問題であり、排気ガスによる健康問題や騒音問題を上回っている。

## 3 自動車をめぐる環境問題の解決のために国や県などの行政に期待すること

問 あなたは、自動車をめぐる環境問題の解決について、国や県などの行政に対してどのような対策を望みますか。(○はいくつでも) n=1,501



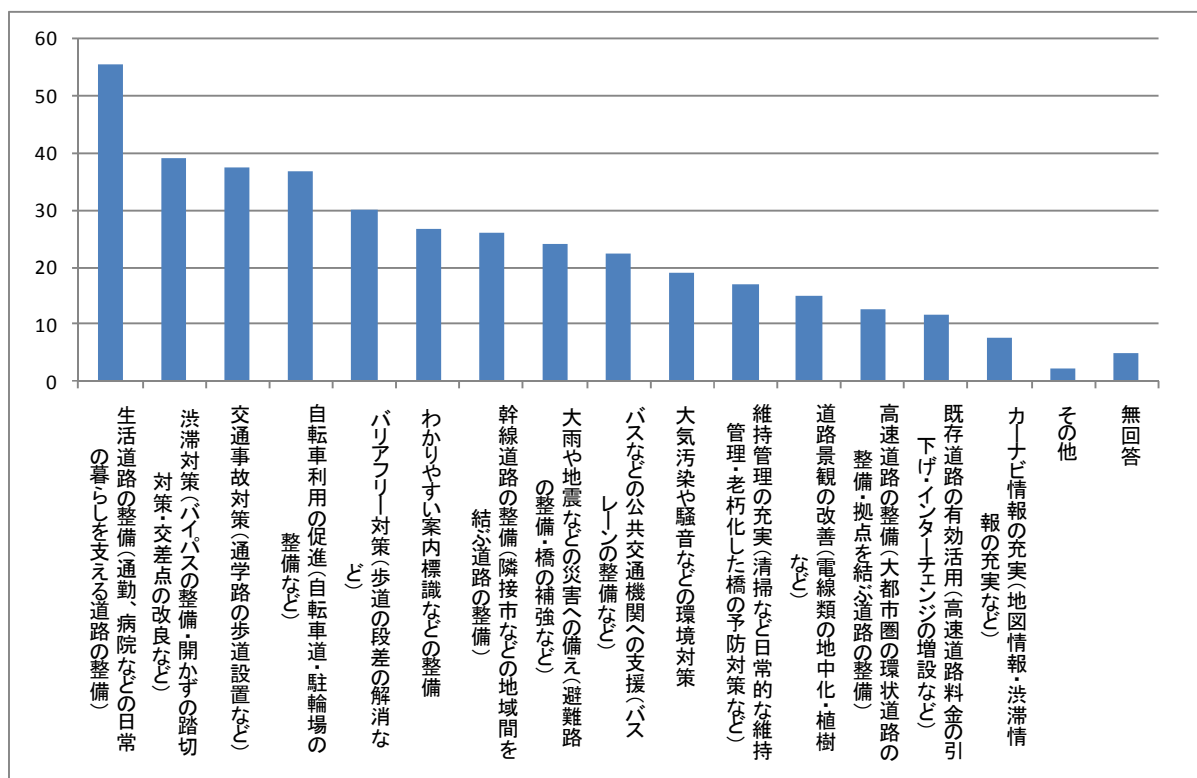
「高齢者が自家用車を持たなくとも不自由なく暮らせる社会を目指す」が約7割と最も多く、運転者の高齢化を反映する結果となった。地域別にみると、夷隅地域が約8割と一番高いが、以下千葉地域、長生地域と続き、都市部と農村部の差はあまりない。年齢別にみると、男女ともに50代以上がそれ以下の年代よりも高くなっている。また、「環境にやさしい車の普及」や「エドドライブ」、「公共交通機関の利用促進」への関心も高く、「排気ガスや騒音の対策強化」を上回っている。

(参考)

## 道路整備について優先的に対策すべき課題

問 あなたは、今後、優先的に対策すべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

n=1,501



同時に行ったアンケートの道路整備について、参考として結果を示す。道路整備について優先すべき課題については、生活道路の整備や渋滞対策等、交通の利便性に関するものが上位を占めている。「大気汚染や騒音などの環境対策」は10位であった。

## 「自動車の利用と環境問題」の自由回答（抜粋）

- 私の住んでいる所は田舎なので、車がなければ買い物にすら行けません。だから、高齢者も車を運転せざるをえません。都会の人は公共交通機関が整っているから、車がなくても生活できるから良いです！田舎の公共交通機関の整備に力を入れてほしいです！（女性・20代・山武地域）
- 自転車用道路の整備!!公共自転車を提供し、車の使用の削減に取り組む。（女性・40代・千葉地域）
- 次の車はエコカーにしたいと思ってるけど、まだ環境がととのっていない。マンションの駐車場と電気コード口が無いし、ガソリン車の方が整っている。（女性・65歳以上・千葉地域）
- 千葉県は他県に比べ、とても道の繋がりが悪く不便だと思います。道路を新しく作っても利用する人がかえって不便に感じることもあるかと思います。電車も含めて接続が悪い。（女性・30代・北総地域）
- 高速道路の料金減額・ETC割引による車の増加により、排ガスなどにつながるので、割引や減額も考えものだと思う。（女性・40代・千葉地域）
- 暴走族の騒音が本当にひどいです。道を行ったり来たりで、ずっと走ってます。警察もなかなか取締りをしてくれません。あと、シートベルトの取締りはするのだけど、路上駐車取締りはあまりしていない様に思えます。（女性・30代・君津地域）
- 海外の都市に見られるような郊外に無料（安い）の駐車場を作り、そこから都心へのシャトルバスが運行するようなシステムが日本には作れないものか。又、都心エリアへの入場料を徴収するなど、そのお金を環境問題改善に使用する。（男性・20代・北総地域）
- 公共交通を積極的に利用させる工夫。事業者が公共交通利用者には運賃以外に手当を出すとか、車出勤者の手当を減らすとか。車ナンバーによって、通勤時の使用制限をする。車会社・スタンド等、反対も多いが、本当に孫の代までの環境を考えるのなら、もっと強力な対策が必要である。（男性・65歳以上・千葉地域）
- 排気ガスによる健康問題については、一つの方策として渋滞の解消に努める必要がある。信号の改善により車両数の多い道路を優先する等、見直すことによりスムーズな流れを作り出す。（男性・65歳以上・東葛飾地域）
- 自動車は必要不可欠であるから、環境にも人にもやさしい車作りを支援すべきではないかと感じます。（男性・20代・東葛飾地域）